



『新たな都市創造プラン』に基づき、相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制として
けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」が創設され、具体的な取組がスタートしています。

けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」 (平成28年4月1日創設) (令和2年6月1日改訂)

総会

- 新たな都市創造プランの実現に向けた取組の評価及び更なる取組の展開や方針等の審議・決定
- 本都市の現状や動向、社会動向、時代潮流等に関する情報・認識の共有
- 文化・学術研究、イノベーション、都市形成、都市運営における取組の進捗確認

幹事会

- 都市の現状と動向、新たな都市創造プランの取組の進捗や課題等の取纏め、同プランの推進方策の検討等
- 本会議の運営

イノベーション推進部会

- けいはんな学研都市における「世界トップクラスの研究開発型オープンイノベーション拠点」形成に向けた推進方策や課題解決策等の検討

都市形成・運営部会

- 都市形成ならびに都市運営の取組に関する協議調整、情報共有および住民交流、立地企業支援の推進等
- 関係機関がより効果的な広報活動を推進するための情報共有、連携、広報戦略立案等

けいはんな学研都市「新たな都市創造会議」 委員名簿

<会長>
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 理事長

<顧問>
日本学士院長(京都大学名誉教授) 井村 裕夫
公益財団法人 国際高等研究所 学術参与(京都大学名誉教授) 長尾 真
公益財団法人 国際高等研究所長(京都大学名誉教授) 松本 紘
一般財団法人 アジア太平洋研究所 所長(大阪大学名誉教授) 宮原 秀夫
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 関西研究センター所長(大阪大学名誉教授) 鈴木 育

<委員>
学校法人立命館 立命館大学総合科学技術研究機構 上席研究員 村橋 正武
学校法人同志社 同志社大学 名誉教授 渡辺 好章

国土交通省 大臣官房審議官
内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 参事官(イノベーション創出環境担当)
総務省 国際戦略局 技術政策課長
文部科学省 大臣官房政策課長
経済産業省 経済産業政策局 地域経済産業グループ地域企業高度化推進課長
総務省 近畿総合通信局長
経済産業省 近畿経済産業局長
国土交通省 近畿運輸局長
国土交通省 近畿地方整備局長
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長
公益財団法人 国際高等研究所 理事長
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所長
国立研究開発法人 情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所長
国立研究開発法人 理化学研究所 理事
国立国会図書館関西館長
国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学長
学校法人同志社 同志社女子大学長
学校法人同志社 同志社女子大学長
学校法人 大阪電気通信大学長
国立大学法人 奈良女子大学長
国立大学法人 京都大学大学院 農学研究科長・農学部長
国立大学法人 大阪大学 理事・副学長
京都府公立大学法人 京都府立大学長
公立大学法人 奈良県立医科大学 理事長・学長
独立行政法人 国立文化財機構 理事長 奈良文化財研究所長
けいはんな記念公園管理事務所長

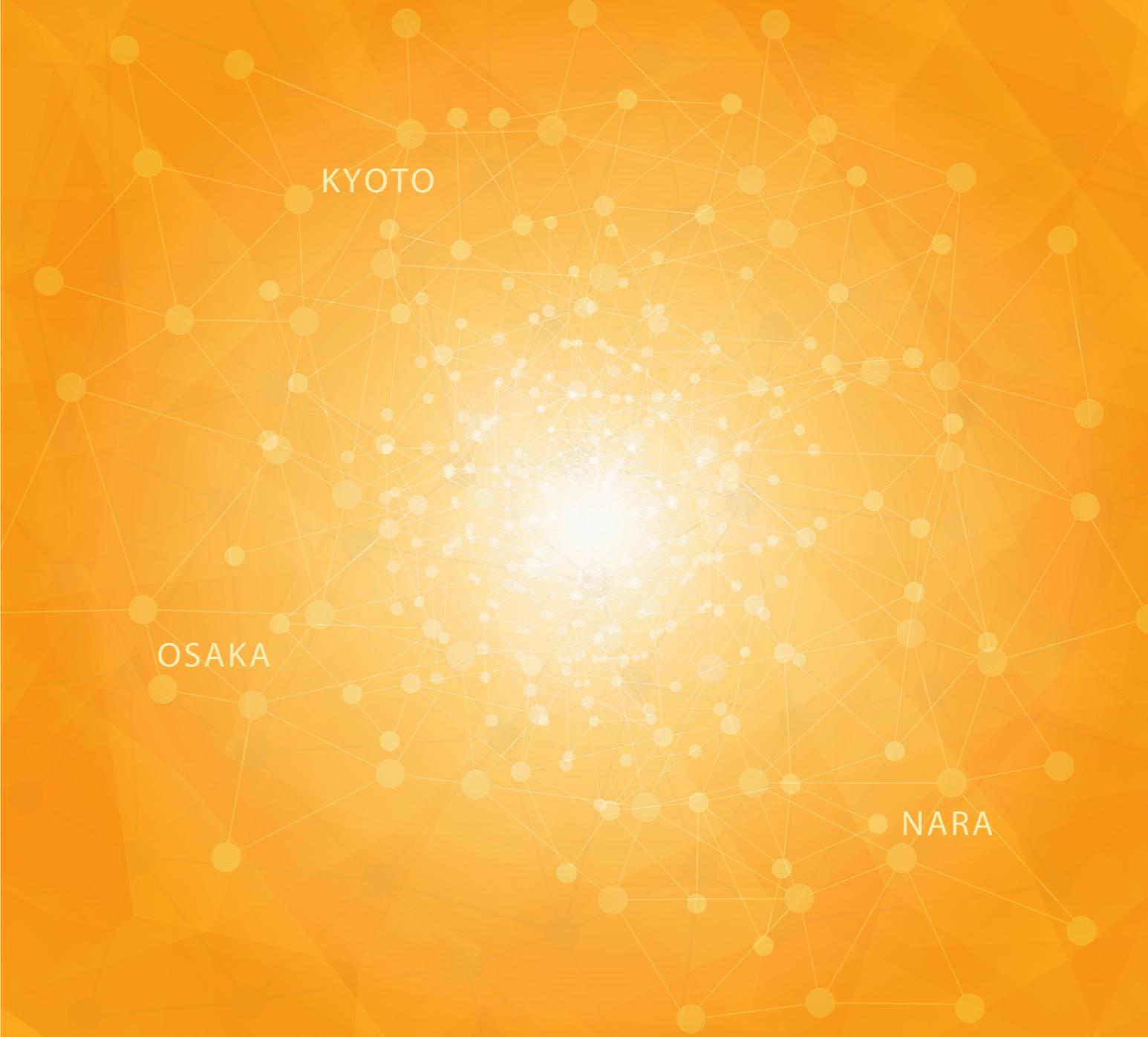
日本電信電話株式会社 NTTコミュニケーション科学基礎研究所長
パナソニック株式会社 テクノロジー本部マテリアル応用技術センター2部 部長
大和ハウス工業株式会社 取締役常務執行役員 総合技術研究所長
オムロン株式会社 代表取締役執行役員専務 CTO 兼
技術・知財本部長 兼 イノベーション推進本部長
京セラ株式会社 けいはんなリサーチセンター長
株式会社島津製作所 執行役員 基盤技術研究所長
サントリーホールディングス株式会社 常務執行役員
ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都 所長
参天製薬株式会社 奈良研究開発センター 施設長
積水ハウス株式会社 執行役員 総合住宅研究所長
日本電産株式会社 執行役員 生産技術研究所 副所長
公益社団法人 関西経済連合会 専務理事
京都商工会議所 専務理事
大阪商工会議所 専務理事
奈良商工会議所 専務理事
関西電力株式会社 理事 地域エネルギー本部 副本部長
大阪ガス株式会社 副理事 近畿圏部長
西日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 近畿統括本部 大阪支社長
近鉄グループホールディングス株式会社 執行役員 総合企画部担当
京阪電鉄不動産株式会社 取締役 事業推進部長
関西文化学術研究都市センター株式会社 代表取締役社長
京都府 副知事
大阪府 副知事
奈良県 副知事
京田辺市長 木津川市長
精華町長 枚方市長
四條畷市長 交野市長
奈良市長 生駒市長
独立行政法人 都市再生機構 理事 西日本支社長
株式会社けいはんな 代表取締役社長
ならやま研究パーク協議会会長
関西文化学術研究都市 高山地区 立地施設等連絡協議会会長
津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会会長
けいはんな学研都市 精華地区 まちづくり協議会会長
関西文化学術研究都市 精華・西木津地区 研究機関協議会会長
木津川市立地企業等懇談会 幹事

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 (けいはんな学研都市)けいはんなプラザ ラボ棟3F
TEL.0774-95-5105 FAX.0774-95-5104 URLhttps://www.kri.or.jp/

2020.10

けいはんな学研都市新たな都市創造に向けて 『新たな都市創造プラン』の概要



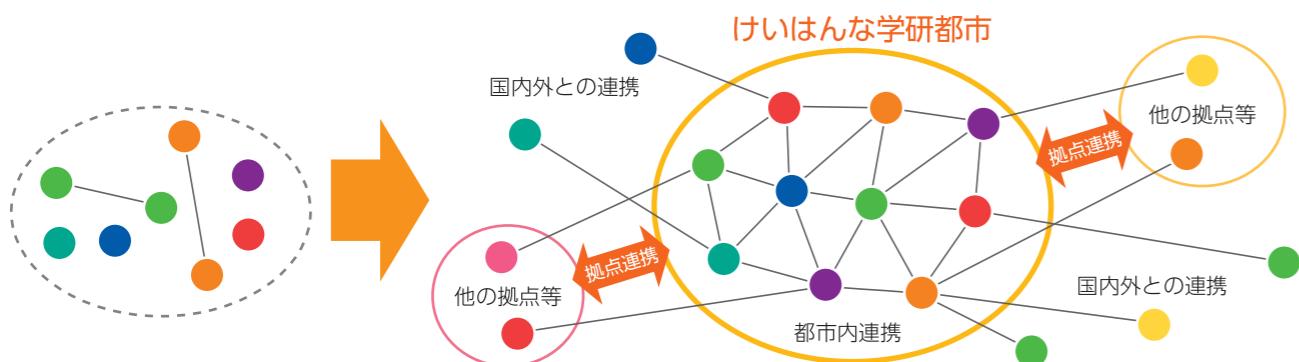
けいはんな学研都市の30年間の到達点

クラスター型開発を通じて、人口や立地施設が集積・定着し、多様な主体による様々なネットワークが生まれ、新たな価値を創造する都市としていよいよ花開こうとしている

東の「つくば」に対し西の「けいはんな」と呼ばれる本都市は、つくばが国の主導で国の機関を集約的に配置しているのに対し、①産学官民が協力する体制で整備を進め、②時代の状況や事業の熟度に合わせ順次進めるクラスター型開発であり、③文化学術研究施設と住宅地との複合型の開発である、という3つの特徴を有しています。

この特徴を活かしたまちづくりを推進してきた結果、昭和62(1987)年の関西文化学術研究都市建設促進法の制定以来概ね30年で立地施設は130を超える、都市の人口も約25万人と着実に発展を遂げてきました。

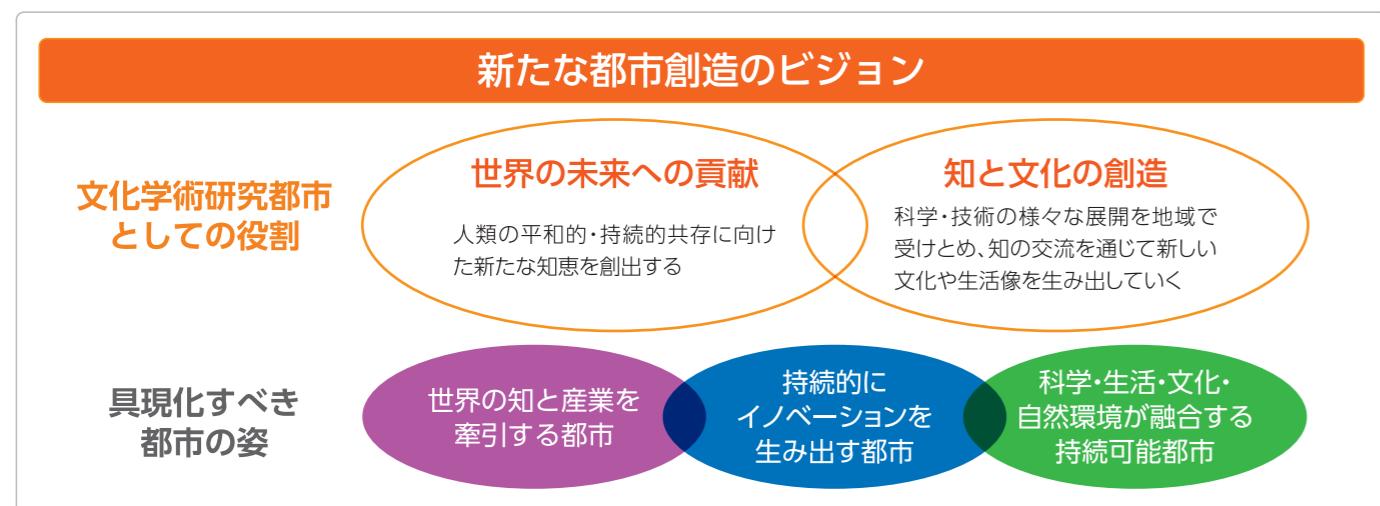
いままでに、立地機関や住民が本都市に立地し居住するメリットを相互に享受し、様々なネットワークを生み出しながら新たな価値を創造する都市として、いよいよ花開こうとしています。



新たな都市創造プラン～けいはんなが目指す姿～

3府県に跨るけいはんな学研都市は、数多くの主体の集積や多様性を大きな強みととらえながら、新たな施設の立地や都市建設を進め、あわせて関連する地域、組織との連携を深め、関西圏域全体の中での文化学術研究都市としての役割を果たしつつ世界に向けて存在感を高める段階に来ました。

この認識のもと、本プランは、①集積する多様な主体が集積の強みを相互に活用し合うための持続的な「高度な都市運営」の体制を備えた地域を創造する、②これまでにない新たなまちづくりを実現する、の2つの意味において新たな都市を創造していくことを目的として、「新たな都市創造のビジョン」とともに、新たな体制及び都市の概ね10年間の方向を示すものです。



ビジョン実現に向けた4つの取組

1 科学技術と文化の融合で知のフロンティアを開拓

- 大学や研究機関等が相互に連携しながら、新たな知のフロンティアを開拓する拠点としての本都市の機能を一層充実
自然科学、人文・社会科学の横断的な連携により「世界の未来像」についての多面的な研究の推進
持続可能社会に向けた学術研究として、環境・エネルギー、人口・食糧・水問題、医療・脳科学など先端的な研究の展開を促進
大学・研究機関と立地企業等の連携による人材育成を促進
けいはんなならではの文化創造に向け、暮らしの中で文化、学術、科学を身近なものとし、様々な「知」を楽しむ教育、学習プログラム等の推進



「持続可能社会の構築と科学」をテーマとして国際高等研究所が開催した第3回東京フォーラムの様子(平成27年2月)

文化・学術研究の振興

2 オープンイノベーションで世界に展開

- マーケットを見据えた研究開発戦略構築や、知財、利害調整、フィールド実証支援など、オープンイノベーションを基軸にプロジェクトの創出と推進を一元的にサポートできる新たな仕組みを構築し、科学技術を活用した産業化を促進
けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)やインキュベート施設、大学・研究機関との連携強化
関西活性化へのエンジンの一つとして関西のイノベーション支援機関のネットワークを構築するとともに、地域産業との連携を強化
世界とのつながりを強化するため、海外のサイエンスパークとの交流・連携や本都市にふさわしい国際会議や学会、セミナー等を積極的に誘致
海外の教育・研究機関、企業の誘致を促進。居住・教育・就労などの受入環境を整備



京都スマートシティエキスポ2015のけいはんなオープンイノベーションセンター会場の風景(平成27年5月)

イノベーション推進

3 世界に先駆けスマートな暮らしを育む次世代インフラ整備を促進

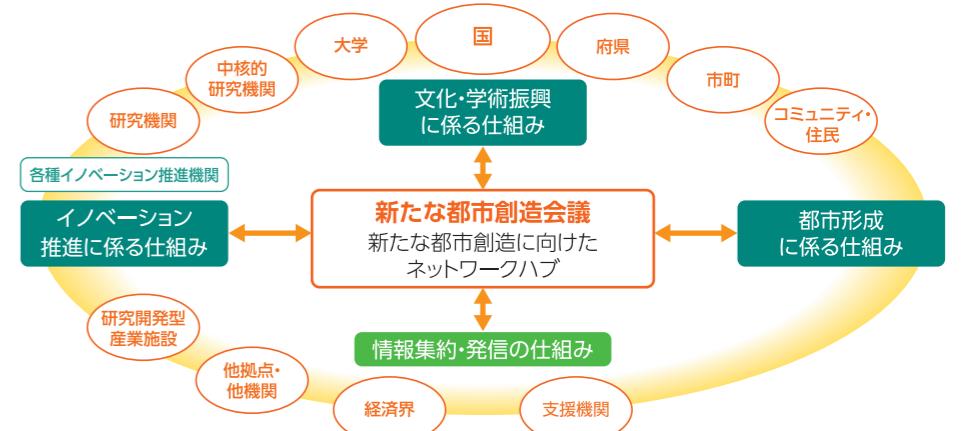
- 急速に進化するICTを環境・エネルギー、交通、イノベーションなどに活用して新たなライフスタイル(スマートな暮らし)を育成
歴史文化資源や自然環境を活かし、本都市の魅力を一層向上
都市の多様性を一層高めるため、今後開拓していくべき分野をリードする研究機関等の誘致、研究施設等と連携効果が発揮できる生産施設等の導入検討、交流を支えるコンベンション機能の充実、強化
国土軸との接続強化、関空や京都・大阪・奈良へのアクセスやネットワークの強化を図るため、学研都市連絡道路(国道163号)、山手幹線、大和中央道などの主要道路の未整備区間の整備を促進
JR片町線(学研都市線)及びJR奈良線の複線化を促進、近鉄けいはんな線の延伸協議
ICTを活用した次世代型の連節バス、カーシェアリングシステムなど、モビリティを高める新たな交通システム等の展開



都市形成

4 相乗効果を生み出すネットワーク型運営体制の構築

- 立地機関等が対等な立場で参画しながら新たな連携を生み出し、相乗効果のメリットを享受できるネットワーク型の運営体制に向け、①本都市全体のネットワークハブとなる新たな都市創造会議、②3つの分野における連携・協働による新たな仕組み、③都市運営の基盤となる情報の集約・発信の仕組みを構築



都市運営